

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	自動車総合整備実習	
科目基礎情報							
開設学科	自動車整備科		コース名	なし		開設期	通年
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	100時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。／実習車、実習教材など						
担当教員情報							
担当教員	坪裕光、西野佑吾、須藤竜二、和田浩、増澤健、赤岡秀紀			実務経験の有無・職種	有・一級自動車整備士、自動車整備士		
学習目的							
「エンジン・シャシ・電装整備とは何か」という総合的な自動車の整備における問いについて理解する。自動車の最新技術などを通じて、現代のエンジンやシャシ及び電装装置の整備について理解する。また24カ月定期点検の検査・法令関係の基礎知識・検査作業を学び、自動車の各部装置の点検整備が出来るようになる。点検整備の共同作業を通じてチームワーク（協働）の重要性を理解します。実習車を用い、点検、検査、調整を行うことで、法令を理解し、点検整備方法を身に付けることを目的とする。							
到達目標							
総合的な自動車の検査関係の基礎知識・点検整備を身に付け、自動車の検査・法令関係の基礎知識・検査作業を学び、自動車の各部装置の点検整備を正確に行えるようになること、検査・点検整備を通じて測定の正しい方法や、検査機器の使い方を身につけること、実習を通じてチームワークを学び協調性を身につけること、4Sの意味を理解し作業環境を整えることの重要性から学び、安全で正確な点検整備作業が出来るようになることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	自動車の点検及び検査関係の実習を通して、共同作業を行うことでチームワークを学び、自ら効率よく作業することを繰り返し練習することで主体性を持って学べるようになることを目指す。結果として、自動車の構造、検査、点検整備が出来るようになります。事前学習、復習をしっかりと行い、安全で正確な点検整備作業を身に付ける。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
授業計画（1回～13回） ※実習内容や順番は変更する可能性がある							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	新技術特別実習①（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
2回	新技術特別実習②（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
3回	ハイブリッド車整備①（グループワーク）			ハイブリッド車の点検整備方法について理解する			
4回	ハイブリッド車整備②（グループワーク）			ハイブリッド車の点検整備方法について理解する			
5回	ナビゲーションシステム（グループワーク）			自動車のナビゲーションシステムの仕組みや点検及び脱着方法について理解する			
6回	新技術特別実習③（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
7回	新技術特別実習④（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
8回	新技術特別実習⑤（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
9回	新技術特別実習⑥（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
10回	新技術特別実習⑦（グループワーク）			自動車の最新技術について学び理解する			
11回	24カ月定期点検作業①（グループワーク）			24カ月定期点検の点検方法について理解する			
12回	24カ月定期点検作業②（グループワーク）			24カ月定期点検の点検方法について理解する			
13回	24カ月定期点検作業③（グループワーク）			24カ月定期点検の点検方法について理解する			